

# 追跡レポート

こないだ聞いたことあり  
どうなったただやあり

## 問

私立幼稚園就園奨励費補助金交付制度を新設して、補助金を交付する考えはないですか。

## 答

今後、保育料の格差と判断した場合は、補助制度を設けて対処していきます。

## その後

平成21年度から低所得世帯（村民税所得割課税額3万4500円以下）を対象に、私立幼稚園就園奨励費の補助を行うことにしました。

## 問

事務事業評価制度を導入すべきと思いますが。

## 答

小規模自治体が、自立するために必要不可欠。

## その後

平成19年度は、試行的に内部評価に取り組み、庁内において検討を重ね、平成20年度では、第2段階として事業を選択して一部外部評価を行い、平成21年度の本格導入に向けてシステムの構築を目指しています。

# おらが里づくり

野平区・野桜会 下川 守計



道標（柄山峠）の整備

蔵（延命地藏）と大日如来像が安置され、白馬の里を風水害や疫病から守っていると言われている。

道中には、江戸時代の番屋跡や風穴があり、春にはイワウチワの花が群生しています。また最近、川中島合戦の頃かと思われる堀切の跡が発見されました。道もだいぶ歩き易くなり、役場観光農政課との協力で道標も設置し、昨年は公民館事業の

野平区では、7年前より有志により善光寺古道（柄山峠越え）の整備作業に取り組んでいます。

この道は旧鬼無里村から善光寺に至る街道で、古くは鎌倉時代以前から、糸魚川方面からの参拝者や牛馬が行き交い、昭和初期頃まで賑わっていました。が、いつしか廃れ、藪が繁茂してその道筋すら判らなくなりつつありました。このままでは、地域の歴史を伝える記憶が失われてしまうと、野平の野桜会メンバーを中心に村内外の有志が集まって、古道を復活させるべく活動しています。

実は、この柄山峠にはアルプスの小蓮華山と落倉を一直線で結ぶ、風切地

トレッキングが開催されて、歴史ロマンと里山の自然を楽しむ古道となってきました。また、地区では毎年高齢者や婦人が中心となって、集落周辺に花を植えています。作り手の無い畑には、菜の花やひまわりを植えて、景観形成と荒廃農地にならないように住民参加の取り組みも行っています。まだまだ周辺では、山林の間伐や復活させたい山道などがありますが、これからも参加メンバーが楽しみながら、一步一步白馬の里づくりができればと思います。終わりに、野平のような小集落の里山づくりに大変なボランティア作業に参加して頂いている村内外の皆さんに紙面をお借りして御礼申し上げます。